

<低学年授業実践>


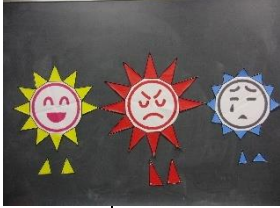
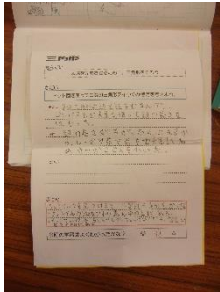

①授業公開の様子

3年生 単元「三角形」

授業者：花田 洋介 教諭（恵庭市立島松小学校）

本時の目標：これまで学習したことをもとに二等辺三角形の作図の仕方を理解する。

本時の様子

過程	学習の流れ（◎発問 ○活動 ・子どもの反応）	留意点
<p>つかむ</p> <p>みとおす</p> <p>かんがえる</p> <p>つたえ合う</p> <p>まとめる</p> <p>ひろげる</p>	<p>○前時までの学習を想起する。</p> <p>○本時の問題を把握する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>太陽を完成させるために、三角形を作ろう</p> </div> <p>○本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ドット図を使って二等辺三角形アイウのかきかたを考えよう</p> </div> <p>○ドット図を見て、気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頂点ウの場所がわからない。・辺アイしかない。 <p>◎3つのパターンの中から1つ選び、二等辺三角形をかきましょう。そして、かき方を考えてみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>A 自分の考えを表現する 図などを用いて、解決方法を考え、自分の考えをワークシートに書く。</p> </div> </div> <p>◎考えを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパスと定規を使って辺の長さを測り、点と点に定規を合わせ線を引いた。 ・頂点ウを見つけ、線を引いた。その後、コンパスを使ってたしかめをした。 <p>◎二等辺三角形をかく時に大事なことは何でしょう。</p> <p>○二等辺三角形をかく時の要点を確かめ合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>頂点ウを見つけると、二等辺三角形をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頂点ウは辺アイの真ん中の上にある。 ・頂点ウは頂点ア、頂点イから、等しい長さのところにある。 </div>	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>C 他者との交流を通して納得し合いができる 友達の考えを聞く。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

②授業分科会での協議内容

- ・提示の仕方の工夫について
- ・ドット図を用いたワークシート及びお助けボードの活用について
- ・自力解決後の、発表の場面での工夫について

③成果と課題

- ・「にこにこ太陽」等、分かりやすい題材を用いることで、子どもたちが主体的に活動することができた。
- ・ドット図のワークシートでは、底辺の中心を意識することが難しかった。一方、「お助けボード」には底辺の中心を表す罫線があったため、その活用も考えるべきだった。
- ・個別の活動から3人のグループでの活動となり、意欲的に意見交流をしている児童の姿が見られた。
- ・学習に使用する用語など、視覚的に訴える教材・教具を繰り返し授業で取り扱い確認していくことで、児童に言葉とイメージの一致を定着させることが必要。

（文責 高島 恵一）